

## 第2回東京都メディカルコントロール協議会 会議録（協議結果）

日 時：平成22年2月16日（火）14時00分～16時20分

場 所：東京消防庁本部庁舎7階特別会議室

出 席：出席委員18名（代理含む）、欠席委員5名

### 1 開 会

### 2 議 題

#### (1) 各専門委員会における協議結果について

##### ア 事後検証委員会

- 事後検証委員会委員長及び事務局より協議結果が報告され、総意を得た。

##### イ 指示指導医委員会

- 指示指導医委員会委員長及び事務局より協議結果が報告され、総意を得た。
- 救急患者受入コーディネーターと救急隊指導医の連携について、今後、具体的な事例を踏まえ、ルール化を検討していくことが必要とされた。
- 医療機関選定困難事案に関する表現について、受入要請の件数要件と連絡開始からの時間要件を明確に列挙すべきとされた。

##### ウ 救急処置基準委員会

- 救急処置基準委員会委員長及び事務局より協議結果が報告され、総意を得た。
- 観察カード等における新生児の重症度判断基準の改正案を、以下とおり修正することとされた。
  - ・ 体温要件を「35度未満、41度以上」ではなく「36度未満、41度以上」に変更する。
  - ・ アプガースコアの表記を、0～2点「不良」、3～7点「やや不良」ではなく、0点～7点「不良」に変更する。
  - ・ 脈拍数の重症度判断基準における異常値の表記を「99回/分未満、161回/分以上」ではなく「100回/分未満、160回/分以上」に変更する。
- 救急活動基準における「気管内挿管」という表記を「気管挿管」に変更することとされた。
- 救急救命士がエピペンを投与できる対象傷病者の定義について、再度、事務局と委員長で確認し、会長の了承を得ることとされた。

##### エ 救急隊員の教育に関する委員会

- 救急隊員の教育に関する委員会委員長より協議結果が報告され、総意を得た。

## (2) 傷病者の搬送及び受入れに関する実施基準（案）について

- 事務局より、東京都における「傷病者の搬送及び受入れに関する実施基準（案）」について説明が行われ、総意を得た。
- ERについては、注意書き等で記載すべきとされた。
- 医療体制の表記は細部を確認することとされた。

## 3 報 告

- 東久留米市の消防事務の一部を東京都が受託することに伴う、東京都メディカルコントロール協議会設置要綱の一部改正について、事務局より報告が行われた。
- 今後、救急隊員の教育に関する委員会の委員として、東京消防庁消防学校から1名の参画を求めることとなった。

## 4 その他

- (1) 平成21年中の東京消防庁救急活動について
- (2) 気管挿管及び薬剤投与病院実習の受入れ状況について
- (3) 東京消防庁救急相談センターの受付状況について
- (4) 救急医療情報キットについて

- 救急医療情報キットについて事務局から説明が行われ、以下の内容が確認された。
  - ・ 救急隊は、区市町村等で独自に導入されている救急医療情報キット等の有無に関わらず、従前通り、基準として示された活動を実施していく。
  - ・ ただし、救急医療情報キット等は、情報収集の一環として活用する。

## 5 閉 会

以 上